

第2回 日本オープンイノベーション大賞 応募書類

■基本情報			
取組・プロジェクト名称		「日本経済の復活」は 各県民による「温故知新」戦略の実行から	
応募者【5名まで】 ※最上段に中心的役割かつ実務を担った代表	メンバー氏名	所属機関	役職
	森松義喬	(株) 国際マイクロ写真工業社	代表取締役
	一木恒佑	〃	営業部
	三浦麻美子	〃	総務部
問 合 せ 連 絡 先	氏名	こくさいまいくろしゃしんこうぎょうしゃ	
	所属機関	株式会社 国際マイクロ写真工業社	
	電話番号	03-3260-5931 (内線 333 代表)	
	E-Mail	<a href="mailto:e@kmsym.com">e@kmsym.com</a>	
	住所	〒162-0833 東京都新宿区筈笥町 4-3 (本社)	
応募区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自薦	
■中心的役割を担う組織			
<input type="checkbox"/> 産業界 (大企業) <input checked="" type="checkbox"/> 産業界 (中小企業、ベンチャー企業) <input checked="" type="checkbox"/> 公的研究機関 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地方自治体、社団法人、非営利団体、学会等)			
■取組が関連する分野 (二つまで選択可)			
<input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 船舶・海洋 <input type="checkbox"/> 航空・宇宙 <input type="checkbox"/> 電気電子 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 繊維 <input type="checkbox"/> 金属 <input type="checkbox"/> 資源工学 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 上下水道 <input type="checkbox"/> 衛生工学 <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 水産 <input type="checkbox"/> 経営工学 <input type="checkbox"/> 情報工学 <input type="checkbox"/> 応用理学 <input type="checkbox"/> 生物工学 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 原子力・放射線 <input type="checkbox"/> 医歯薬・健康科学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 情報・記録の 保存と活用 )			
■希望する受賞名 第一希望 : ( ④ ) 第二希望 : ( ③ )			
①科学技術政策担当大臣賞    ②総務大臣賞    ③文部科学大臣賞    ④厚生労働大臣賞 ⑤農林水産大臣賞    ⑥経済産業大臣賞    ⑦国土交通大臣賞    ⑧環境大臣賞 ⑨スポーツ庁長官賞    ⑩日本経済団体連合会会長賞    ⑪日本学術会議会長賞			
■本取組・プロジェクトに係る受賞歴、他賞への応募状況があればご記入ください			
●受賞歴 無し ●「政府への提案書」として 2015 年～今年まで 文部科学省様・農林水産省様等 HP 内「ご意見」等のコーナーへ送信済。 本取組 を内容をバージョンアップしながら送信中。 本取組 を各官公庁様が拝読して載っているか等は (現時点までは) 反応が無く、不明。			

## ■組織・プロジェクトの概要

### 目的

- 【日本経済の復活】： クールジャパン戦略・地方創生・一億総活躍社会 の成功  
（官の指導：各県と47都道府県の古文書撮影プロで、各県民が撮影・管理して目的の実現）

### 取組全体

- 何を：  
「古文書」を。47都道府県ごとにホッタラカシ状態になっている「大量な過去情報」の管理。  
「温故知新」の実行。「過去の情報」を廃棄せず、デジタル化（一部補修）して未来に活用。  
各地域にある古文書は情報源、「新しい商売」「新しい郷土資料室」の増大を含め 地域ネタの宝庫。
- 何時までに：  
大至急。3Kではない仕事内容をシルバー人材等の新規雇用対策・内需拡大のため火急。
- いくらで：  
官・県の予算の優先順位が上がれば実現可能。（1+5年間で251億円）
- 未来図の作成：  
産・学・官・民 の協力。AI（自動翻刻）によりデジカメ撮影された古文書情報を現代語に翻刻。  
各県の未来を構築するには「過去の地域情報」は必要不可欠な教材。

### 連携の内容

- 誰が：  
撮影者は、各県の【潜在的労働力】（シルバー人材・主婦・身体障がい者・ニート：若年無業者 等）
- どのように：  
撮影指導は、各県のプロの古文書撮影作業員。品質等全国統一できる取組みを当社と実現。

### 客観的な効果

- 「潜在的労働力」の顕在化。「新規雇用」による内需拡大。
- 各地域にある大量な過去情報の活用。各地域独自の「新しい商売」開拓の為の情報資産の発掘。



政府への提案

## 【連携の目的】社会的ニーズへの貢献について

### 社会的ニーズへの貢献・社会課題の解決

#### ●潜在的労働力の顕在化。

「3Kでは無い仕事」は、47都道府県の健全な潜在的労働者は喉から手が出る程に必要。

3Kではない「古文書のデジタル撮影」は

- ・冷暖房完備の部屋・テーブルとイス等を各県で用意（空き小・中学校でも可）
- ・カメラ台前に座席（車イスでも不可能では無い）
- ・古文書の頁をめくり、ガラスで抑えて撮影
- ・80歳のシルバー人材でも150コマ／時間の撮影実績（通常は130～200コマ）

#### ●「古文書」が廃棄・ホッタラカシ という課題：

「古文書は世界遺産」と海外の学者方・有識者から大きく称賛。

世界最高峰に「識字率」が高い日本国民の証拠の多くが、経年劣化のなすがまま。

江戸時代以前から大量にある「古文書」。

「藩政改革」を「県政改革」へと繋いでゆく為には「過去の情報」を教科書として各県が「新しい商い」の展開を図ってゆくことが必要不可欠。

各県民に「過去情報の大切さ」を気が付かせ、「温故知新」の「種子」を地域の未来に「開花」。

#### ●各県に今居る若者が古文書管理から郷土愛を確認できるチャンス、その増大。

### 産業の在り方の革命

民主主義・資本主義ゆえにプロが「技能を公開」してゆくことは不可能。

しかし当社は2015年以前より「日本経済の復活」策を全国の古文書撮影する同業者社長に説明。

「国家プロジェクトとして予算化が成れば撮影技術の公開を許諾」との回答を条件付きで得た。

条件は官・県からの指導において

A 各地域では6000万画素以上の撮影はしない、という指導：プロの技術向上領域等の確保

B 6000万画素の古文書撮影のプロへの指導料は初回は多く必要：直接労務費の3倍以上の売上それら指導が徹すれば、全国の古文書撮影のプロがクールジャパン戦略を絵にかいた餅としない方向で協力してくれる。

### SDGs

1・3・4・8・9・10・16・17 に貢献

### 社会課題

少子高齢化（シルバー人材・身体障がい者等の雇用問題）問題解決の手本（例）

## 【連携の内容】先導性・独創性について

### 先導性・独創性について

当社であれば全国の指導體制の確立が可能：

30年以上 宮内庁御用達会社を継続し、※ 国立国会図書館大量電子化プロジェクトを1社で対応する実績・技能を有する唯一無二の会社。（約300名の素人派遣社員を1か月でセミプロ化）

中央官公庁の各アーカイブズ（記録管理）の「仕様書」の作成協力を行ってきた。

国内TOPのMLAである東京国立博物館・国立国会図書館・国立公文書館の「古文書の撮影業務」の入札時配布の「仕様書」を30年以上作成協力を（内々に）行う。

ゆえに主たる地方の同業社長方は当社であれば「仕様書の作成」「品質の統一」の指導が出来る、との賛同を得ている。

### 従前にはないプレーヤーの巻き込み

全てのファイリング関連の団体は、元大企業・メーカー系等の団塊の世代が牛耳る、事実が有る。

▲ 当社所属の 公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会・日本イメージ情報業連合会も同様各団体は大企業からの人員配置・協賛金・習慣的な接待等を実行。

都内には中小企業に中にも大企業の息のかかる会社があり、それら大企業関連が窓口となった場合、長期的に国家プロジェクトを適性に動かす事は困難。

旧 国家プロジェクト（国立国会図書館2011年）では

その目的よりも大企業間の127億円業務の利益争奪が主と成り、結果として直接技術で貢献した中小企業の利益は縮小され、大赤字化や倒産が相次いだ。

当社創業者・二代目の私も 大企業の理不尽に屈すること少ない稀有な会社であり、

私は全国青年社長の会の立上げ数件に関わり 全国二代目三代目の同業者社長と縁が深い。

各団体を通さずに直接各県の中小企業と連携が可能。必要に応じ大企業は協役で運用。

（未だ大企業には内々）

当社であれば「儲けすぎない 損しない」「仕様と品質等の全国の統一」の全国統一が可能。

「従前にはないプレーヤー」（各県のプロ）と共に作業内容等を統一し、大企業等の利益争奪に右往左往させられない進行が可能。



※ 実績

【連携の効果】客観的な効果と持続可能性について

客観的な効果と持続可能性

本取組が政府主導の予算として付けば、全国の古文書デジカメ撮影のプロ達の技能・ノウハウを当社で統一・レベルUPさせながら、各県の潜在的労働力の方々へ伝授する仕組みが実現できる。

そして、膨大な数 未だ開けた事も無い古文書が各県にあり、それらの中から地域地域の記録がデジカメ撮影されて蘇る。そして地域の「学」「民」「産」等により、過去情報の科学的調査（最新）を行う。それらにより 180 度 長・短が変換する事もあり得る。

それら「膨大」な過去情報から「新しい商い」等に結び付けて行けばそれら効果も「膨大」となる。

温故知新：過去の情報（古文書）から未来を構築する「新しい商い」の構築の種としてゆく。過去 1000 年の内に大きな「天災」「人災」は数十件、どうにか生き伸びてきた今在る古文書。その管理、先ずはデジタルカメラ撮影の媒体変換は火急である。

持続性は、5 年間の「費用対効果」を産官学民等で確認し、その後のコストの増減を考慮。

数値指標

「政府へ・・・方針と対策」は右図。

- ・ 251 億円 (5+1 年計画) の詳細は、右図の右下にある「いくらで」 → → →  
(この費用は 官 指導のもとに各県にて管理・配布するコスト表)  
(実証実験：5 年計画直前の 1 年間 1 億円で東京近辺・千葉県等で 1 回は実験)
- ・ 設備投資費用は初年度に集中。2 年目以降の設備投資は激減。
- ・ 時給 1000 円をシルバー人材等に配布、それを加味したコスト表。
- ・ 撮影された画像を「学」の協力者や AI により「現代語への翻刻」。
- ・ 「新しい商い」はやみくもの挑戦では無く、各地域の過去情報を紐解いて「教材」として運用。



※「官」様方へ 代表 森松より

本取組の受賞の可否にかかわらず、「官」（厚生労働省様・・・雇用対策）で後押しして戴きたく、何卒お願い申し上げます。

「プロによる技能の伝授」はプロにとって命取り、しかし目的を共に動く全国の社長方は多い。クールジャパン戦略の成功の為には、この「壁」を乗り越える実例が必要、と感じます。

「少子高齢化の世界各国」、世界一古文書が多い日本独自のチャンス。予算が成れば実行します。

効果等を示す数値指標

- ・ 古文書の撮影： 150 コマ／時を目標。(1 か月研修後の目標)
- ・ ネズミ算式にセミプロ化： 初年度の素人が、2 年度目には指導者になれるように 1 年を掛けて人材を育成。(初回の受講者数の 1/2 が次年度の指導者へ／毎年)
- ・ 「現代語に翻刻」された各地域情報から公開できる物を選択  
「新しい商い」へのシフトを「産」「学」「民」を「県」と検討して「町興しの提案」。
- ・ 「新しい商い」を「町興し提案書」内から 2 年目から 2 件づつの実現を目標。  
例：伊達政宗の創作料理の再現版・その NET 販売、、、など

-----  
応募書類は以上です。以下は任意の確認事項です。ご了承いただけるようであれば口にチェックしてください。

- オープンイノベーションの推進に関する情報提供のメール等の送付を受ける。
- オープンイノベーションの推進に関する調査・アンケート等に可能な範囲で協力する。